

別紙3

1.3 利用者処遇

活動の主な内容

・内海町の環境を活かした活動として、釣りや磯遊び等を行い、自然の中で子どもたちは様々な経験をします。海で捕まえた生物や釣った魚を図鑑で調べたり、絵に描いたり、捌いて料理をすることで自信をつけていきます。

※ライフジャケットの着用、職員の心肺蘇生法・AED講習受講、活動は土曜日に午前と午後の二組に分けて行い、その際には人員を増員して対応し安全に十分配慮した上で行います

・野菜や果樹を育てている近隣の住民の方からお声がけをいただいております、地域との交流（畑作り・海岸の清掃活動等）を積極的に行います。保護者や学校の先生以外の多様な大人に見守られて活動にじっくり取り組むことができ、自分の力を試し、認められて育つことができます。また、たくさんの友達や地域の方といろいろな活動を通して、人との関わり方を学び、コミュニケーション力を伸ばします

・クッキング（野菜作り・魚の捌き方・材料の買い物等）を通して生活力の向上を目指し、自立に向けての支援を行います

※地元の漁師さんに協力頂けます

・外部講師をお招きしての製作活動（工作・書道等）により表現する喜びを体験でき、自分の得意なこと好きなことを見つけ、将来どんな自分になりたいか、そのためには何が必要か、に繋げていけるよう支援します

・親子で一緒に野外活動を行い、キャンプやスポーツなどを通して自然に親子間のコミュニケーションを増やし、さらに他の親子ともふれ合い経験を共有し、保護者同士の繋がりも広がっていきます

・外での活動が苦手な子は室内で本を読んだり、廃材を使った製作を行い季節に応じた作品を作ります。また、室内にはブランコやハンモック、バランスボールを設置し雨の日でも楽しみながら体を動かしバランス感覚を養います

・送迎時に加え保護者相談日を設け、いつでも気軽に相談でき、ご家族が抱える悩みや不安を少しでも軽減できるよう相談支援を行います。子どもの成長や発達について保護者と情報を共有し、一人ひとりに応じた個別支援計画をより良いものにしていきます

・学校や相談支援事業者等関係機関と連携し、子どもに対する支援をより良いものにしていきます。また学校の行事や授業参観に積極的に参加します。

・近隣の協力医療機関と連携し、子どもの事故やケガ、健康状態の急変が生じた場合に早急に対応します